

足利風 -ashikaga-fu

2019
12月号
Vol. 65

Happy Holidays!



イラスト：あべ あやこ

足利市民活動センター

開館時間：平日 午前10時～午後7時

〒326-0051

栃木県足利市

大橋町1丁目2006-3

TEL 0284(44)7311

FAX 0284(44)7312

mail info@shimin-act.jp

HP <http://www.shimin-act.jp>

HP QR コード



☆ ご案内 ☆

- *特集！
- *TOPICS
- *私のボランティアことはじめ
- *サークル紹介
- *インフォメーション
- *センターからのご案内

* だれ一人も取り残さない！ *

NPOマネジメント理論に定評のある、伝説的な経営学者であり社会思想家でもあったピーター・ドラッカーが、「世界一最古の非営利機関は日本にある。奈良の古寺がそれである。」と、その著書“非営利組織の経営”の中で述べている。私のボランティア・NPO仲間に、松本や飛騨高山の僧侶がいる。彼らを観ていると、確かに、お寺の本来の在り方として、民間非営利の存在として、地域の中に位置づけられていると、感じられる。

その松本のお寺で地域に拓かれた企画として開催された講座の際に、先日前お亡くなりになった女優・樹木希林さんとお会いしたことがある。ひょうひょうとしているようで、その凜とした生き方には感動した。樹木希林さんの言葉～「しっかり傷ついたり、へこんだりすれば、自分の足しや幅になる。」～ステキな女(ヒト)だった。



いま、“だれ一人も取り残さない”という「SDGs」: 持続可能な開発目標 (Sustainable Development Goals) が、世界的に注目されている。

- * あらゆる場所であらゆる形態の貧困に終止符を打つ
- * あらゆる年齢のすべての人々の健康的な生活を確保し福祉を増進する
- * すべての人々に包摂的、公平で質の高い教育を提供。生涯学習の機会を促進する
- * すべての人々に水と衛生へのアクセスを確保する
- * 持続可能な消費と生産のパターンを確保する
- * 公正、平和かつ包摂的な社会を推進する・・・ などなど

17の目標を2030年に向けて、国連で世界が合意した。大きそうな目標に見えるが、一人ひとりが身近なこととして捉えてアクションを起こしていきたいものだ。

“生活の豊かさ”とは、やさしさとゆとりである。生活の豊かなまちづくりは、それぞれが自分らしく在れる、その自己決定できる選択の可能性を広げておくことだろう。足利という街もそんな街でありたい・・・と、思う。 (M生)

* 足利源氏の源流を辿る *

ボランティアNPO講座 ～燦(きら)めき足利～ は、足利リビルドの会 会長・川田 享男(たかお)さんの“足利源氏の始祖に思いを寄せよう・・・”という内容の濃い講座となった。

足利源氏の源流を辿りながら、初代足利義康そして二代足利義兼(鏝阿上人)で佳境に入った。樺崎寺や平泉毛越寺を模した浄土庭園み。浄土庭園が四カ所もある街・足利はもつと誇りを持って良い。

足利には多くの歴史遺産があり、足利氏による室町時代が近世日本の基礎を創ったとの自負を持って良い・・・と言える。これからの展開が楽しみな講座となった一夜でした。

* 昭和、平成、令和 *

奥中 敏則



令和という新しい時代を5月1日に迎えた。令和の時代は明るく華やか時代になるのであろうか。現在、日本の社会は少子高齢化、年金・介護といった社会問題や、これから発展するであろう5G(第5世代移动通信システム)、AI(人工知能)、自動運転、EV(電気自動車)といった経済・産業の大変革を迎える。しかし、日本の技術力は米中の技術力からかなり遅れをとっているようだ。

思い起こせば、1980年代、日本企業は家電や自動車の輸出で多くの外貨を稼ぎ、日本車がアメリカ市場を席卷した。デトロイトの自動車産業労働者によるやっかみで日本車がハンマーで打ち砕かれ、日本の海外への経済進出が恐れられた。「ジャパンバッシング」(日本叩き)である。その勢いは今の日本企業にはないようだ。反対に今は米国や中国の情報通信技術を握るIT企業の勢いが止まらない。バブル崩壊後の失われた20年、そして30年、米中に大きく水を開けられた日本に対して今や「ジャパンバッシング」(素通り日本)と呼ばれて久しい。産業構造の変革に後手をとっている日本企業に復活はあるのだろうか。我々を取り巻く環境も厳しくなるかもしれない。

なぜか。内閣府による平成30年版高齢者白書によると、2017年10月1日現在の我が国の総人口1億2671万人のうち、65歳以上人口は3515万人(27.7%)である。2042年には総人口1億1913万人に対して3935万人(33.0%)と推計される。高齢者の人口に占める割合が約3分の1である。

少子高齢化に対しては外国人材の受け入れによる労働力確保が欠かせない。

更に優秀な外国人留學生の日本企業への就職確保など、あらゆる手を尽くしての人材確保が必要となるだろう。

1980年代の海外に打って出た国際化とは違った意味の国際化がそこにはある。

* あしかが「未来」ネット *

熊倉 拓哉

今活動しているのは「とちぎ女性活躍応援団」「栃木の元気なこども育て隊」という栃木県知事名で事業所登録認定(第67号)をされ、明日の子供たちを考え、育てること。物造り活動を通して「手本・自覚・命・思いやり・継承」という理念で、未来の子供たちを導き育て、大人たちが率先して子供と関わりを通して行動すること。子供たちに何を伝え、未来に何が残せるのかを考えています。スタッフは、共感してくれる仲間で行っています。

DAIQ3工房 熊倉工務店 が事業所登録認定となります。

① インフォメーション ①

MERRY CHRISTMAS & A HAPPY NEW YEAR!

みなさまには、令和元年も、足利市民活動センターへのご支援ご協力をいただきました。誠にありがとうございました。おかげさまで数多くの才能溢れる方々が私どもの活動に新しく参加されて来ております。また、足利市内外から、私どもの活動に対しまして、身に余る高い評価をいただいております。心より感謝申し上げます。来たる新年2020年も、実りある協働の実践をめざして、尚一層努力して参ります。どうぞよろしくお願い申し上げます。

足利市民活動センター指定管理者・NPO法人足利の風理事長 鈴木光尚

「まちの縁側」～読書サロンへのご招待～

★12月20日(金) 14:00～16:00

* 本 : 「とはずがたり」(後深草院二条)

* 案内人: 日下部 悲天さん

★ 1月17日(金) 14:00～16:00

* 本 : 「粗にして野だが卑ではない」(城山三郎)

* 案内人: 川田 秀幸さん

■会場: 足利市民活動センター

■参加費: 無料

■お問い合わせ・事務局: 足利市民活動センター ☎44-7311

* センターからのご案内 *

☆みんなの広場 ～ 12月・1月のご案内 ～

* 11月25日(月)～12月 5日(木) 遠い日のふるさと展

* 12月 9日(月)～12月26日(木) 水引き切り絵展

* 1月 6日(月)～ 1月16日(木) 新春 能面展

* 1月20日(月)～ 1月30日(木) 押し花キャンドル展

☆相談室&講座のご案内

* 相談室 = 毎月第2・第4水曜 午後2時～4時 ※詳しくは、別紙参照

* 講座 = 毎月1回 午後7時～9時 ※詳しくは、別紙参照

* 編集後記 *

まちなかがイルミネーションで輝く季節となりました。もうすぐ年明け、来年はオリンピックを含め、たくさんイベントがありますね。いまかいまかと心待ちながら、来年への準備をしています。来年も皆様にとって良い1年になりますように。(すずうさぎ)